

9. 令和6年度日本臨床検査標準協議会 (JCCLS) シンポジウム報告

Report of Japanese Committee for Clinical Laboratory (JCCLS) Symposium in 2024

山田 俊幸 (JCCLS 常任理事、自治医科大学医学部教授、現 群馬パース大学 副学長)
**Toshiyuki Yamada MD, PhD (Chairperson of Committee for Execution of Academic
Conference, Professor of Jichi Medical University
School of Medicine, Currently, Vice-President of
Gunma Paz University)**

1. プログラム作成メンバー

山田 俊幸、石橋みどり、常名 政弘

JCCLS シンポジウム」を開催した。

シンポジウムは4セッション、合計7演題の
講演で行われ、登録参加者数は76名であった。(資
料1参照)

2. 活動報告

(一社)日本臨床検査薬協会、(一社)日本分析
機器工業会、(一社)日本衛生検査所協会の後援
を頂き、令和6年12月13日に、「令和6年度

尚、シンポジウムの様子は、次のURLからオ
ンデマンド視聴が可能である。

https://www.jccls.org/active/science_meeting6/

資料1 令和6年度 JCCLS シンポジウムプログラム

開会挨拶 高木 康 (JCCLS 会長、昭和大学名誉教授)

セッション1 小規模施設を対象とした外部精度管理事業

2022年度来 JCCLS で取り組んでいる小規模検査施設の外部精度管理調査の昨年度の成績と、今年
度新たに追加した血液検査の予備検討結果の報告。

司 会 石橋みどり (JCCLS 常任理事 新東京病院臨床検査部)

講演1 「令和5年度外部精度管理調査の報告と今後の展開」

高木 康 (JCCLS 会長 昭和大学名誉教授)

講演2 「CBC 検査項目のサーベイ試料予備試験の結果と今後の課題」

篠原 克幸 (JCCLS 小規模施設の外部精度管理調査委員会)

セッション2 血液検査の標準化

自動血球分析装置の標準化の現状と課題

司 会 常名 政弘 (東京大学医学部附属病院臨床検査部)

講演1 「自動血球分析装置標準化の現状と課題」

永井 豊 (日本検査血液学会標準化委員会：血球計数標準化小委員会)

セッション3 POCT・災害対応検査機器試薬の品質

災害への対応が話題となる中、災害対応検査機器ならびに試薬の精度管理について

司会 山田 俊幸 (JCCLS 常任理事 自治医科大学臨床検査医学)

講演1 「機器の精度管理」

メ谷 直人 (JCCLS 理事 国際医療福祉大学熱海病院臨床検査部)

講演2 「試薬の精度管理」

山崎 家春 (株式会社ビー・エム・エル 顧問)

セッション4 生理学的検査の標準化 ―波形データについて―

現在まであまり取り上げられることがなかった生理学的検査に注目し、心電図ならびに神経生理検査の波形データの精度管理と標準化について

司会 古川 泰司 (JCCLS 理事 帝京大学医学部臨床検査医学)

講演1 「標準12誘導心電図検査・精度管理の現状」

古川 泰司 (JCCLS 理事 帝京大学医学部臨床検査医学)

講演2 「神経生理検査の精度管理と標準化」

篠原 克幸 (JCCLS 小規模施設の外部精度管理調査委員会)

閉会挨拶 矢富 裕 (JCCLS 副会長 国際医療福祉大学大学院)